

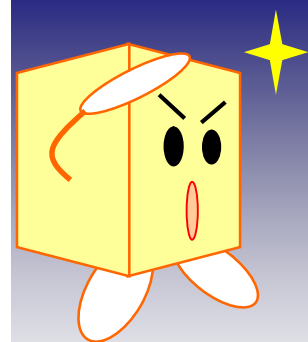


エコアクション21
認証・登録番号0000010

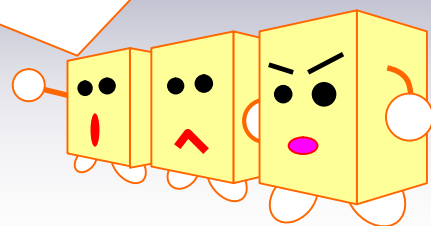
太陽インタストリー 段ボール事業部 戸畑工場 09年度 環境活動レポート



段ボールはリサイクル率が極めて高く環境に優しい素材です。
弊社は、それを加工・販売しています。



もくじ



①組織の概要

②対象範囲

③環境方針

④環境目標とその実績

⑤環境活動計画と取組結果及びその評価、次年度の取組内容

製造課の取組

業務課の取組

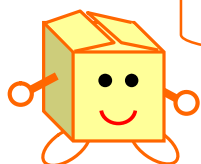
物流係りの取組

営業部の取組

⑥環境関連法規等の遵守状況の確認
及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

⑦代表者による全体の見直しと評価

この環境活動レポートは2004年度版ガイドラインに
添って作成しています！



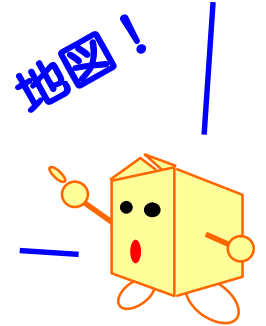
①組織概要

事業所名及び代表者氏名

事業所名：太陽インダストリー株式会社 段ボール事業部 戸畑工場 製品在庫保管倉庫
代表者名：事業部長兼工場長 松本 健二郎

所在地

戸畑工場 〒804-0071 福岡県北九州市戸畑区川代2丁目3番7号
製品在庫保管倉庫 〒804-0071 福岡県北九州市戸畑区銀座2-9-9



事業内容

段ボールケースの製造、販売及び包装資材の販売



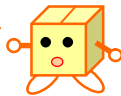
項目	単位	2007年度	2008年度	2009年度
主要製品生産量	t	8,417	6,508	5,943
出荷額	万円	143,209	136,189	126,267
従業員人数	人	55	52	69
床面積	m ²	5,156	5,156	8,564

会社沿革

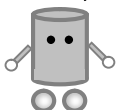
昭和33年 陶器用特殊包装資材を考案し、太陽紙器工業を発足
昭和34年 段ボール製造部門を新設
昭和37年 小倉段ボール製造工場を建設
昭和40年 事業拡大に伴い、太陽紙器有限会社へと法人設立
昭和42年 東陶機器株式会社小倉第一工場内において、包装関係業務の請け負い開始
昭和43年 東陶機器株式会社中津工場内において、包装関係業務の請け負い開始当社中津工場を建設
昭和47年 当社中津工場内に段ボール工場を建設
昭和56年 小倉工場に段ボール製造工場を増設
平成02年 太陽インダストリー株式会社へと組織及び社名変更を行なう
平成03年 中津新田工場第一工場として、重量物梱包包装用段ボール製函工場を建設
平成12年 戸畑運輸製函株式会社より、段ボール部門の営業を譲り受け、戸畑工場を開設
平成15年 小倉工場を閉鎖し生産機能を戸畑工場へ集約
平成16年 11月15日、段ボール事業部戸畑工場が「新エコアクション21」を認証取得
平成18年 戸畑工場 新エコアクション21を更新
平成19年 北九州市主催、エコテクノ2007に出展
平成19年 12月4日、太陽インダストリー株式会社 中津工場・中津新田工場がEA21を認証取得
平成20年 北九州市主催、エコテクノ2008に出展
平成20年 戸畑工場 新エコアクション21を2度目の更新
平成21年 段ボール事業部、物流部門を設立しサイトの拡大を図る。(製品在庫保管倉庫を拡大サイトとして追加)
※緑の字は当工場の環境活動に関わる内容

②対象範囲

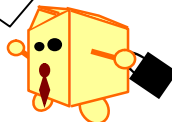
弊社は以下の3事業部により構成しています。
環境活動の内容を踏まえて紹介します。



ea21を認証取得！
(0002058)
人口大理石・FRP・レジンコン
クリート、パイプ等を製造、販売し
ています。



本日も、2011年に
ea21の認証取得を目指
します！



TOTO構内に於いて生産ライン
を請負っています。
環境活動はTOTOさんが認証取
得しているISO14001番を実施
しています。



認証番号
0000010
の範囲です！

本社

化成品事業部

中津工場

中津新田工場

段ボール事業部

戸畑工場
製品在庫保管倉庫

TOTO構内事業部

小倉事業所

中津事業所

総括環境責任者

EA21の運用管理の責任者として
みなをまとめます。

EA21の総括責任者として環境経
営システムを指揮・監督します。

環境管理責任者

顧客からの環境管理物質の窓口、環境管理
物質の監視・システム運用を行います。

EA21事務局として、書類作成、記録
管理、各項目の立案を実施します。

環境管理物質管理責任者

環境事務局

製造課 環境委員

営業部 環境委員

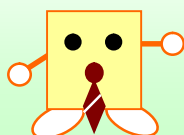
業務課 環境委員

物流係り 環境委員

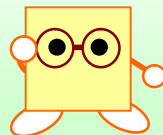
製造は電気削減による
二酸化炭素と廃棄物排出量
の削減を行っています！



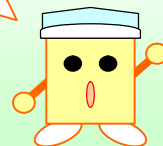
営業はガソリン等による二酸化炭
素排出量削減と包装材の使用量
削減を行っています！



業務は水使用量削減とグリーン
購入を行っています！



物流は軽油による二酸化炭素
削減を行っています！



③環境方針

1.基本理念

当社は、「お客様の繁栄をお手伝いをする」ことをモットーに、人と自然との共生をめざして、快適で安全な地球環境の保全に少しでも貢献するよう社員一人一人が相違・工夫を図り環境負荷の低減に積極的に取り組みます。

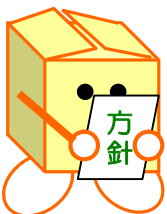
2.環境方針

当社は、段ボールケースの製造・販売及び包装資材の販売を行っている中で環境負荷の低減を図る為、以下の環境活動を推進していきます。

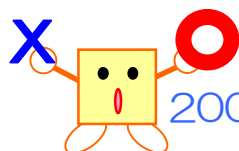
- (1) 環境目標を定め、定期的に見直し、継続的な環境経営システムの改善に務める。
- (2) 環境に関わるあらゆる法規制とその他要求事項を遵守する。
- (3) 環境管理物質の適正管理に務め、事故及び緊急事態に伴う環境影響を予防し緩和する為の対策を講じる。
- (4) 当工場の事業活動に伴う影響を考慮し、以下の項目について環境改善に務める。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減。(電気使用量の削減、自動車燃料の使用量削減等)
 - ② 廃棄物処分量の削減及びリサイクル率の向上。
 - ③ 総排水量の削減。
 - ④ 環境管理物質の不使用を徹底。
- (5) 環境に配慮した資材の調達と生活活動の推進資源の消費者として環境に配慮した資材の調達を努めると共に生産活動による環境負荷を積極的に低減する。
- (6) 継続的環境改善の実施を行い、更なる環境意識の向上及び環境教育を展開し、全従業員の環境意識を高めていく。
- (7) 環境に配慮した包装材の設計を行い、包装材の使用量を削減します。



2003年10月1日制定
2008年 4月1日改定
太陽インダストリー株式会社
段ボール事業部 戸畑工場
工場長 松本 健二郎



④環境目標とその実績



2009年度の環境活動の目標と実績及び中期目標は以下の通りです。

項目	単位	基準値 (05年度～07年度 実績値の平均)	2008年度 目標	2009年度 目標	2009年度 実績	判定	2010年度 目標	
二酸化炭素排出量	電気使用量	kg-CO2	197,765	195,787	213,388	165,722	○	211,254
	自動車燃料使用量	kg-CO2	45,634	45,178	94,416	94,664	×	93,472
	総量	kg-CO2	247,303	244,830	309,129	262,128	○	306,038
廃棄物排出量	トン	43.24	42.80	42.37	36.83	○	41.94	
廃棄物排出量に対するリサイクル率	%	79.7%	80.5	81.3	85.1	○	82.1	
総排水量	m ³	1,893	1,874	1,855	1,257	○	1,874	
包装材使用量の削減	案件/年	1案件 (1%以上の効果)	1案件 (1%以上の効果)	1案件 (1%以上の効果)	1案件/年	○	1案件 (1%以上の効果)	
環境管理物質の不使用の徹底	-	不使用	不使用	不使用	不使用	○	不使用	

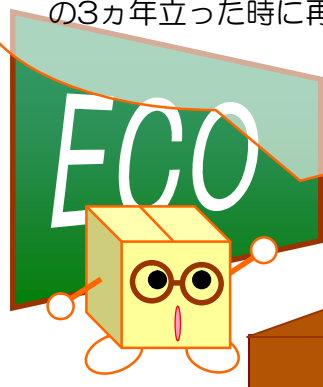
「環境目標と09年度実績」の評価

2009年度は自動車燃料使用量以外は目標を達成することが出来ました。今年度は新たに物流部門ができ、以前にもまして、自動車燃料使用量の削減については車輛の増加により条件が厳しくなりました。

途中までは様子を見ていましたが、目標達成が困難になりましたので、**2009年11月に目標値を変更しました**。営業、物流ともに不確定要素が高いので、遠方の出事が多くなるとエコドライブ等で燃費を改善しても結果、ガソリン・軽油の使用量が増え使用量は悪化します。その結果、僅かにですが目標は未達となりましたが、二酸化炭素排出量の削減については、電力使用量が大幅に低下したので達成する事ができました。皮肉な事ですが、昨今の不景気の煽りを受けた格好になり、生産量が落ちた事の影響もあります。その流れも一つの要因となり、廃棄物排出量も全体的に削減した格好になりました。

「環境目標の中期目標」

当サイトは、2008年度から3カ年の中期目標を立てました。基準として、2005年度から2007年度に環境活動を行った平均値から毎年1%づつ下げる事を目標としています。2010年度の3カ年立った時に再度中期目標を立てるように計画しています。



⑤環境活動計画と取組結果及びその評価、次年度を取組内容

2009年度、当工場において実施した環境活動の報告です。



製造課の電気使用量削減による 二酸化炭素排出量の削減

取組内容と結果

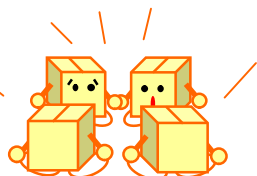
今年度は、事務所棟の電力使用量を把握する事に努めその結果、照明器具を4箇所交換しました。これにより年間207kwh程度の削減を見込めます。

評価

上記の結果、削減効果は全体の0.12%程度しか効果が無く基本的に全体での削減効果と言う意味においては、期待は持てませんが、古い機材を環境性能の高い物に変える事により従業員はもとより、外部の人間に環境活動をアピールできる点は評価できると思います。

次年度を取組内容

上記の反省を踏まえ来期は、削減効果を最大限に発揮する事に重きを置き「工場内の最大需要電力削減」を目指します。



製造課の一般ゴミ排出量削減による 廃棄物排出量の削減



取組内容と結果

各課の代表者を集めて月に一度会議を開き、そこで各意見をや問題点を出し合っています。今年ミーティングの結果、主に取り組んだ内容として「事務所内にある複数のゴミ箱を撤去し、炊事場一箇所にゴミ箱を集約して紙類と一般ゴミを分別、収集しています。」今期の実績は、36.83 tと目標値を大幅に下回っています。

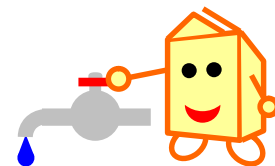
評価

電気使用量削減と同様に今期は事務所内での削減を目指した為、最大数量を減らす活動と言うわけではありませんでした。結果は目標値に対して大幅に減っていますが、不景気による出荷量の落ち込みの為、必然的にゴミの排出量が減少傾向となったのも一因です。

次年度を取組内容

上記の反省を踏まえ来期は、製造現場から排出されるゴミを削減する為にまずは、一般ゴミの分別を行い、ゴミの排出量削減に努めます。

業務課の水使用量削減による 総排水量の削減



取組内容と結果

今年度は、今まで取り付けていない蛇口に節水ゴマを取り付け、水使用量の削減を進める為に、雨水の使用が可能であるかを検討しました。また、今期は1257 m³を使用しました。目標値を-598 m³も下回りましたが、社員の意識向上に加え、廃棄物排出量使用量削減と同様に出荷量の削減も影響がありました。

評価

上記の結果、節水ゴマを取り付ける際に、パッキンの交換を行うなどし、漏水を防ぐなどして僅かではあるが水の無駄な使用を避けるように努めました。水使用量削減は、多少やりつくした感じがあります、地味ですが同じ活動を長く続ける事により、少しずつ使用量を減らす事を目指します。

次年度を取組内容

来期も引き続き、節水ゴマの取り付けと雨水の使用検討を図ります。地味ですが水使用量削減は取組む内容が限られているので、同じ内容でも繰り返す事で効果が得られます。



業務課のグリーン購入の推進

取組内容と結果

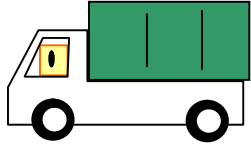
業務課が事務用品等を購買する際に環境に配慮された製品であるエコマーク商品やGPNDDB掲載品、グリーン購入法適応商品の3点を満たす製品を積極的に購入するようにしています。その為の購入品リストを作成しており、また購入した際には購入の実績を記録保管しています。

評価

消耗品関係は、コストダウンを行うなどして改善を行っています。エコマーク商品も積極的に購入するなどし、数値には表れにくいですが環境負荷低減に貢献しています。

次年度の取組内容

来期も引き続き、同様の活動を行います。



物流係りの自動車燃料削減による 二酸化炭素排出量の削減

取組内容と結果

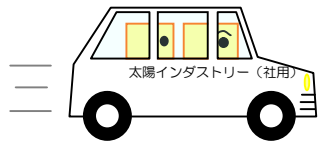
今年度から設立した物流部門は、営業と同様に自動車燃料削減による二酸化炭素排出量の削減を実施しました。物流の場合はトラック(軽油)の使用量を削減する事になりますが取組は、営業と同じ「エコドライブ10か条」を取組、二酸化炭素排出量を低減します。今年度は17,961ℓ消費し係数換算で47,135kg-Co₂になります。

評価

エコドライブ10ヶ条を取組んでいますが、今年度はまず、集計という観点に重きを置きました。トラックは営業車よりも多く二酸化炭素を排出する為、次年度はより一層のエコドライブに期待したい所です。

次年度の取組内容

来期も引き続き、エコドライブ10ヶ条を取組みます。ドライバーが一人一人取組むように指導していきます。



営業部の自動車燃料削減による 二酸化炭素排出量の削減

取組内容と結果

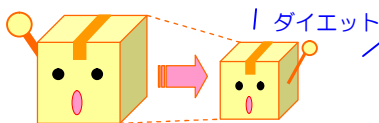
「エコドライブ10か条」のうち、昨年取組んだものでより効果の高い取組事項を5項目選出し取組みました。排出量は43,056kg-Co₂と営業部門単体で見ると当初の目標値である44,726kg-Co₂を達成しています。

評価

上記の記載にあるように営業部門単体で見ると当初の目標値は達成しましたが、自動車燃料使用量という観点からみると+248kg-Co₂と目標値を上回ってしまいました。ただ今年度は取組んだ内容が良く前年比でも-717kg-Co₂と成果を上げていますので、引き続き活動の継続を図りたいと思います。

次年度の取組内容

来期はアイドリングストップを重点的にを行い、二酸化炭素排出量の削減を行います。



営業部の包装材使用量の削減

取組内容と結果

去年から新たに取組んだ活動で、「仕様・寸法・材質の変更による包装材の使用量の削減」を取組みました。対象品番のお客様に提案した所、2件の提案を受け入れてもらえました。提案をした製品の去年の実績から推測すると今回の削減効果は約1.4t相当の段ボール重量を削減できます。

評価

前年よりも1案件増え、前年の440kg相当の削減から大幅に効果を上げる事ができました。特に、削減効果が約14t相当ある事が非常に評価できます。

次年度の取組内容

来期は、今までと同様に包装材の使用量削減を行い、またリサイクルを促す為に段ボール用のリサイクルマークをつけていくように提案を行っていきます。

その他 環境に関する活動 (環境コミュニケーション)



ボランティアに参加した時の様子



工場周りの清掃の様子

取組内容

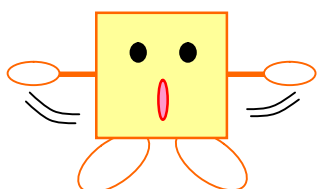
毎年10月の最初の日曜日に北九州市では「市民いっせいまち美化の日」と称してボランティアによるゴミ拾いが市内で行われます。その行事に弊社も毎年参加しています。今年で4回目となり毎回参加をし、地域社会との環境コミュニケーションを図っています。

また、毎月1回は従業員で工場周辺のゴミ拾いを行い、社内内部のコミュニケーションも図っています。

⑥環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

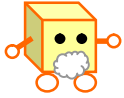
当工場に適用される環境に関する法規については、下記の法律を遵守しています。尚、法規確認の結果違反は無く、関係当局並びに利害関係者からの指摘もありませんでした。

該当法律	遵守事項	当工場の対象設備等
北九州市 公害防止条例	①第2条の特定施設に該当し、第6条に基づき届出を提出している。 ②第4条で定められた規制基準（特定工場規制基準）を遵守している。（当工場は第四種区域に該当する。） ③第25条に基づき公害防止担当者を選任届出を提出している。	①コップレッサー×2台・ 印刷機×2台 ②戸畑工場 ③製造課長 佐藤 康一
消 防 法	①第8条1項に基づく防火管理者の選任届出。 ②第8条1項に基づく消防計画の作成届出。 ③第8条1項に基づく避難訓練の実施、記録作成。	防火管理者 製造係長 船田 剛
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	①第12条2項に基づく産廃の保管義務。 （産業廃棄物保管基準（規則8条）による表示義務） ②第12条の3に基づくマニフェストの管理義務。	産業廃棄物 ・汚泥・廃プラ ・金属屑・廃油 ・木屑



セーフ!!

⑦代表者による全体的見直しと評価



09年度の総括です。来年度からガイドラインが新しくなる為、移行期間を活用し無理なく新しいガイドラインに適應できるように努めます！

項目	所見
監査の結果	内部監査人による内部監査チェックリスト及び環境責任者の報告内容により全般的には問題無しと判断する。しかし、事務局の変更により書類の保管状況に不備があったので早急に改善、対応している。
是正の実施状況	営業部門の二酸化炭素の削減目標の未達について改善内容の取組が弱いように思われるので実行要領にて再度具体策の取組内容に改善するように指示する。
法の遵守状況	法律等の遵守状況のチェックリストに於ける遵守状況の報告及び状況確認を行い問題無し。又、新しい法律及び変更法律は、該当無し。
実施体制の適切性	一部組織の追加及び担当者の変更があり実施体制に遅れが生じたけれども適切に対応した為問題無し。
目標設定の妥当性	一部組織変更に伴い運送部門の内省化され化石燃料の使用量をデータ収集して次年度具体的に取り組む活動する事になっているので適性と判断。しかし、営業車の目標未達について達成出来る範囲とかがえている。
教育、訓練の実施状況	計画に従って実施しているので問題はないと判断するが、有効な計画かが多少問題が有るように思われるので次年度の計画にこの点を踏まえ計画の立案をするように指示する。
コミュニケーションのあり方	内部、外部のコミュニケーションのあり方について問題はないと判断する。ただ、アピールと言う点について再度検討して実行するように指導して行きたい。
文書管理状況	事務局担当者の変更と共に引継ぎの処理に多少問題あり今後、引継ぎ処理がスムーズに実行出来るように職務、権限等を教育して行くようにしたい。
運用管理の有効性	運用、実行の管理については、有効にされているが周知という点で従業員全員に発表、掲示等が有効でない様に感じるので検討する必要があると判断する。
緊急事態の考え方	計画している緊急事態の教育、訓練については問題ないと思われるが、緊急事態の想定に多少固定観念に捕らわれているので環境委員会にて色々考えて行くようにする。
環境方針の変更の有無	全体的には、変更しないでも良いと認識している。しかし、部分改定は、して行きたいと感じている。特に削減費用の算出、投資費用の把握等を行い環境に対する意識の向上を目指す。
環境目標の変更の有無	2008年度から3カ年の目標設定をしているので変更は考えていない。
要求事項の変更の有無	要求事項の変更が有り、変更内容の確認及び実施体制の変更も確認済
その他	E A 2 1 取得して色々な取組を実行して二酸化炭素の排出量の削減は、結果を残せて従業員の認識も向上してきたと認識しているが、更なる向上を目指す為に活動によるコスト削減効果を算出することによって再度、認識の向上を図りたい。